

市民と議会との語る会実施報告書

日 時	令和7年11月18日（火） 午後7時～午後8時30分頃
会 場	岡本公民館
出 席 議 員	畠 勝浩 議員（班長） 森本 辰之 議員 橋本 弥登志 議員 清水 一徳 議員 砂田 龍一 議員 川崎 俊之 議員 前田 修治 議員
参 加 者（市 民）	27名
司会（班長） 議会報告者 全体記録係	司 会：畠 勝浩 議員 議 会 報 告：清水 一徳 議員 記 錄：橋本 弥登志 議員
【1部】 定例会概要報告等 (報告者) 清水議員	<p>Q：自転車活用推進計画について、三輪車やバッテリーで動くシニアカーもその範囲に入るのか。高齢者なのでこれらが入ると助かる。</p> <p>A：計画では定義が明確化されていない。ただ、これまでの市からの説明では二輪車を対象にしていると思われる。自転車活用を推進することで、健康面や環境面、観光面、さらには道路インフラの整備についての計画が載っている。国が方針を立て法整備し、それに則って地方版の計画を立てたという内容になっている。</p> <p>Q：我々は自転車に乗りたいが、家族や近所の人から危ないのでやめなさいと言われる。そのため、タイヤが3つある三輪車ならふらつくこともなく安全。最近はシニアカーのリースがあるらしい。そういうリースも補助の対象になるのかどうか分からぬが、我々高齢者は、危険への対策として、三輪車を利用する等戦略を検討してほしいが、検討段階にあるのか、自転車だけしか対象としないのか、見解を教えていただきたい。</p> <p>A：この計画は、令和7年度から5年間の計画となっており、まず第1期の計画が決定された。できたばかりで課題もあり、都度見直しを行うものなので、意見いただいた三輪車とかシニアカーについて、どのように考えているのか、今後議会でも聞いていきたい。</p> <p>Q：自転車活用推進計画は、国からの事業をそのまま市が踏襲していくのか。</p> <p>A：8年ほど前に国が法令を定めた。全国の地方自治体において地方版の計画を作成すべきとの努力義務があり、今年度から来年度にかけ、全国の地方自治体の約半数がこの計画を策定している。</p> <p>基本的には国の方針に則っとるとはいえ、越前市の状況に合わせた計画になっている。</p> <p>Q：池田町のトンネルが開通したことにより、かなりスピードの早い車が月尾谷の道路を降りてくる。そうなると、自転車を乗りたいと思っ</p>

	<p>ても怖くて乗れないような状況が現実的にある。その対策として、道路を分離して自転車専用道路を作るなど考えていくのか。</p> <p>A：この計画を立てることで様々な効果が期待でき、今の意見もそのとおりだと思う。いわゆる交通ルールの遵守に向けて、警察に依頼するところも期待できるし、さらには自転車が走りやすいインフラ整備も期待できる。ただ、どれくらいの需要があるのかをしっかり見極めないといけない。財政上、お金も必要になってくるのでバランスを考えて、皆さん 意見を伺った上でプラスになる計画改定をしていくべきだと思う。委員会でも質問していきたい。</p> <p>(意見) 自転車通学する人にも配慮した検討をしてほしい。</p>
<p>【2部】</p> <p>意見交換会</p> <p>(1班)</p> <p>進行：畠議員</p> <p>記録：橋本議員</p> <p>森本議員</p>	<p>Q：今、中山間地で獣害問題が出ている。実際区長をしていると、よく野生動物の話を聞く。山に人が入らなくなったことも要因の1つと思う。市はいろんな補助をしていて、獣害対策のための柵などに対して補助をしているが、本当に効果のある対策になっていない。</p> <p>その効果の検証はされているのか。</p> <p>動物はどんどん増えているので、実効性のあるものを提案していかないといけない。例えば、区民に協力してもらって何かをやると言っても、また被害が同じようにあるのでは意味がないと言われてしまい、協力を得られない。より効果的なものを行政として調べて提案いただきたい。</p> <p>A：人口減少から起きる空き家問題なども獣害に関わっていると思う。産業建設委員会で討議している。</p> <p>今、クマ、鹿、イノシシなど、大型の獣が注目されているが、もう1つ、街中に住み着いたアライグマ、アナグマ、ハクビシンなどの中型動物の問題も存在している。空き家が増える中、街中で中型動物がどんどん増えている。今捕殺をしないと、今度、街中の人高齢化し人口が減る中、獣が増えだしたら手がつけられなくなるため、市も議会も獣害に関してはかなり真剣に取り組んでいる。</p> <p>先の9月議会では、市長から、今後の重要課題として取り組むと発言があり、今度の12月議会でその進捗状況を聞くようになっている。</p> <p>イノシシの檻だが、実は、3週間ほど閉じていた。捕まえたイノシシを殺して、大きな土管の中に入れて腐敗させてどんどん埋めていくが、獲れ過ぎたのと、腐敗に時間がかかり過ぎたので、20日間だけ止めていたとのこと。今日、再開したので、またこれからイノシシの捕獲を予定通り行う。注視していく。</p> <p>柵設置に、地元はすごく労力を使い大変だったと聞いている。集落によっては今の人手ではできないところもあるので、抜本的な解決をしなくてはいけないと思い、今話し合っている</p> <p>(意見) 獣害に関連して、捕獲の罠を設置し捕獲した際、そこにかかっている鹿に内臓がないことがある。おそらくクマが食べている被害がある</p>

と聞いている。野生動物の肉食化の問題があるので、何か対策を検討いただきたい。

Q：新幹線の駅周辺に関し、先日、細川県議会議員が、地元の地場産業を取り入れた施設を作り、整備を進めていくとの話をしていたが、市として、何か整備していく具体的な案があるのか。今後の駅周辺の活性化に関して市議会としての計画があるのか。

A：開発のグランドデザインが見えてこない。新幹線駅の駐車場問題や、福井村田製作所のほかをどうするかなど、今は点々の話なので、全体的にどのあたりまで開発していくのか、深めていかなければいけないと思っている。

駅前には入浴施設がついているホテルが建つ。その敷地の横に、未来創造基地という建物を建設予定。

共立メンテナンスによって建てられた施設を借りるという形で進めている。中身については、まだはっきりとは決まっていない。

ただ、希望としては、地場産業を支える、食に関するようなことが主に展開していくと思っているがまだ正式には決まっていない。

Q：地元民や福井県民だけに来てもらうのではなく、県外、外国人など、他所から来ていただき、お金を落としてもらうことを考えていくよい。具体的な計画が見えると、個人的にアピールできるようにもなるし、人寄せといった活動、動きにもつながっていくと思う。越前市だけでなく丹南地区全体に広げる形でもいいと思っているし、地場産業が多い街なので、体験の施設があると面白いんじゃないかな。

A：それに加え、建物を建てるのであれば市民も喜んで使えるものでないといけない。この地が、オーバーツーリズムになることは想像しにくい。

あるタクシー運転手から、新幹線が開業してから仕事が半分くらいになったと聞いた。

市が発表するときはいい数字を出してくるし、例えば、紫式部プロジェクトで 26 万人来たとか、そういう話に釣られるが、実際の観光入れ込み数はどうなのかを数字を出して調べてみる必要がある。

Q：越前市は文化県都推進をやっていると話を聞いているが、具体的に目に見えてこない。

特に駅周辺を整備すると他のところへ来なくなる可能性もある。あまり便利にしないほうがいいかもしれない。

そこから出発していろんなところへ回っていけるよう、アクセスを整備すべきではないか。

また、和紙の里通りにいると、結構外国人が増えているように思う。平日の日中でも、もう日本人より下手したら外国人が多いというぐらいの数が来ている。そういう人たちが満足して帰れるような施策を考える上で、どういうことを求めているのかを聞いて積み上げてほしい。

今、ユネスコの世界遺産に追加登録ということが話に出ているが、局紙作りも続けていけるといいと思う。

今、局紙作りをやる人が少なくなっており危機的状況だが、過去の歴史を見ると、素晴らしい歴史があって、それを失うことが問題。

A：産地に来た人が、再度来るという仕組みができていない問題がある。観光協会に伝えているが、メルアドなりを残してもらい、季節のイベントをピックアップするなど、越前市の情報を提供し、翌年、2年後3年後に来ていただけるような仕組みを作るべきじゃないかと、観光協会に問い合わせている。

Q：具体的に言うと、アンケートを取るときに何か小さいお土産を渡すシステムにするとよい。それを喜んで持って帰ってくれるような人であれば、ちゃんと答えてくれると思う。

僕も時々話をするが、自国から今立まで直接来られている。何かのつてがあったのか聞いても全然ではなく、紙すきを見てみたいということで、いきなりポンと来られる。動向など何でそこに行きたいと思ったのかを、どういうツールを見てそう思ったのかを知っておくべき。

A：越前和紙は、観光ではお客様が増える要素はたくさんあると思う。聞いたことだが、他の産地に比べて越前和紙は街にその雰囲気があるという。たくさんの工房、工場があって博物館のように感じるからこの越前が好きだと思った人が増えている。

そういうところを行政と、観光協会が協力し、海外に発信していくもらえるようこちらもお願いしている。ユネスコとは関係ないが、紙関係で海外の博物館と提携して、そこから人が来てもらったり、こちらからも行ったりということを進めており、うまくいけばまた来年度に報告できるかと思う。

海外に越前和紙を宣伝してくれる拠点がいくつかできると、そこを中心広がっていくと思うので期待している。

Q：今、アメリカの大学にいる彼がキーパーソンになり、今立の和紙をPRしてくれている。グループを作って今年活動を始めており、日本とアメリカの橋渡しをしたいと言っているので、ぜひキーパーソンになっていただき広めてもらう方向もありだと思う。

A：伝統文化である、和紙、打刃物、たんすと大きいものが3つあるので、それぞれの大使を作ったらどうかと発言したこともある。例えばアメリカで越前和紙を広げるのに、こっちの人がいろいろ考えてやるよりも、その彼のように、アメリカのこと、また自分の地域のことをもよく分かっている人に任せる。越前和紙ラブを持っている海外在住の人に、ある程度お金も渡し、企画の権利も渡す。そういう提案はしたが進んでいるのかは分からない。でも、越前和紙愛好家は、アメリカの彼だけでなくヨーロッパの方でもおられるし、本当に越前市を愛していると言った

方の協力を仰いでいくことは、財政的にも助かるし、広めていくのにその人たちの力を借りしなくてはいけないと思っているので、担当部署と話をしていく。

Q：新生児が1人もいなかった地区がある。今立地区には小学校が4つあるが、1学年1校の学年もあるように聞いている。学校の統廃合の計画はあるのか。進んでいるのか。

A：計画まではいっていないが、市長1期目の終わりに、本会議で小学校統廃合の話があった。旧武生市内でも、東とか西、白山、坂口がかなり減ってきており、それが子供の教育にとっていいのか、ある程度人数が集まって仲間を増やしながら切磋琢磨するとか、いろんな人の意見を聞くことが大切でないかと。そういう観点で、市全体の小学校の統廃合を考える時期に来ているのではないかと、議会でも意見が出ている。

ただ、市長も議会も思っているのは、それを決めるのは市民なので、行政から、今立の小学校4つを1つにしていくと言われても、それを受け入れられない。地域性、歴史を重んじながら十分話し合って、子供たちが楽しく幼少期を過ごせるようにすることが必要だと思う。住民の皆さんとの話し合いを十分するように、議会からも市長に提言していく。

Q：害獣駆除について、大滝地区に5名ほど駆除する方がいるが、もう70歳以上である。今は、鉄砲で駆除する人も1人いるが、大滝だけでなく山室から月尾谷に、下手すると味真野まで行って、檻に入ったから駆除してくれという依頼が来ている。

その活動に対しての助成金が少なすぎる。年間更新料が2万円ほどかかり、登録だけで5万円ぐらいかかるので、そういうところを毎年助成していただければ、もっと活動しやすくなる。議会でも提案してほしい。

A：今年から鳥獣被害対策実施隊と呼ばれる実際に駆除される方が市の補助を受けて動いてくれているが、高齢化が進んでおり、ハンターの数もすごく限られている。それに比べて獣の増え方がすごい勢いなので、行政側と十分に話をしていく。

Q：先日、空き家対策の会議があった。話を聞くと、ただ単に市民の意見を聞きに来たように思えた。

極端なことを言うと、空き家1軒壊すあたりに幾ら補助くれるのか、そういうレベルの話もあれば、ハクビシンとかが住み着いて困っているという話もあるので、市が対策を具体的に出してほしい。

A：対応のスピードは実際遅いと思う。すぐ何かあると民法を出してくる。民法で個人の所有物には、公は手を出せないと言っている。しかし、少々解釈に変化があり、今年の冬の終わりぐらいに、個人の所有物を、倒壊の危険があるということで、公金で解体した。

財政的には多くはできないと思うが、場合によっては税金の投入もやむなしというところまできている。また、理事者側と話をしていく。

議員も気をつけなくてはいけないと思っているが、ゴミ屋敷問題の例がある。ある議員は2回続けて一般質問し、ちゃんと対応すると答弁を得ているが、1年半ぐらい経つけれども、あまり変化がない。

行政側からずっと言い続けるしかないので、それに合わせて具体策と一緒に理事者側に話をしていく。

Q：公金を使って空き家を解体する場合、周りの人らがどうすれば動いていただけるのか。

A：流れとしては、各集落の区長や自治振興会が最初に伝えるところになる。そこを窓口に行政側に伝えてもらうが、かなり遠いところの親戚まで調べるし、普通の空き家では入ることはない。倒壊して、周囲に危険を及ぼすという時、公金を投じたのが2件あるというだけ。ただ今後増えると想像される。対策を練っていかなければいけない。

Q：いろいろな要望等を担当の課に出したことがあるが、年度替わり異動があると担当者が変わり、その要望が消えてしまうことが多い。引き継ぎも行われてない。

A：私たち議員もそれを感じことがある。理事者には強く伝えていく。

Q：補正予算を組んであるが原資は単費なのか。

A：ものによって違い、国庫補助が入るものもある。

Q：観光の宿泊施設整備で3,000万円や、自転車活用推進計画の補助金、公的に判断されるものと、個別的に出される事業があると思う。何が公で、何が民間なのか、この区分けが曖昧になるときがある。どう考えているか。

A：まさしくそうだと思う。今の越前市の経常収支比率が確かに94%か95%ぐらいで、要は自由になるお金が5%ぐらいしかなく、大体10億ぐらいの中で事業をしなくてはいけない。財政難の折、市長自ら国に出向き、国から直接補助金を見つけてくる。そうすると、国が組んだプロジェクトに乗る。何で企業にここまで払うのかと疑問に思うこともある。そういう点について質問していくので、議会や議会だよりなど見てほしい。

私企業に投資しても、そこが倒産すると資金の回収は困難である。税金がうまく活用されたのかを正していくのが議会の仕事だと思うので、着目しておいてほしい。

Q：観光推進事業で宿泊施設を整備しているが、完成した後のPRを官民ともにしっかりとしていくことを市へ提案してほしい。

A：オープニングのとき聞いたが、予約などの問い合わせが入ってきていくようだ。あの場所に宿泊するということは、紙すきを体験されることが前提であろう。県、観光協会も事業者相手などのPRには力を入れていくだろう。

また、新幹線駅ができたが、産地へのアクセス方法が不足している。

(2班)

進行：清水議員

記録：砂田議員

地元からも要望があり、きちんと整備することを求められている。

Q：デマンド交通の進捗状況は。

A：ドアツードアを利点として進めており実証実験を重ねている。少しづつ利用者も増えていると聞いている。病院帰りや買い物で利用される高齢者が増えている。

Q：学校統廃合について、議会として要望しているのか。小人数で個別的な教育ができる面では利点もあるが、切磋琢磨して集団の中で成長することも大切だと考える。個人的には合併する方向がいいのではないかと思う。

A：公民館にしても地域のまとめは小学校単位であることから、一挙に統廃合するのは難しい面がある。ただ、子供たちの教育面を考えると現実的に統廃合は必要となっていくとの考えもあり、地域の自治振興会などで組織を作って話し合いを始めたところ。前市長も、地元から要望がないと行政側から積極的に統廃合の動きを持ち出すことはないとのことだった。それがようやく教育委員会でも合併について考えるという方向性が出ており、統廃合を考える時代になってきたことは間違いない。しかしながら、地元が統一した意見を持たないと話が進まないと思っている。

Q：政策サイクルでの議会からの提案について、どのように行われているのか。

A：事業に対してその予算が妥当なのかを議論するし、内容が効果的なのかも比較検討している。3つの委員会の中で調査研究テーマをピックアップして議論していく。今年は、産業建設委員会が農業に関することで提言書を出した。教育厚生委員会は、公立こども園の保護者との意見交換会を行い、除雪に対する苦情など様々な意見を聞いた。

Q：森林環境譲与税について、使いやすくPRしてほしい。山に入る人も少なくなってきた背景からの課題も多い。

A：越前市は、はっきりと地境が分かっているところが少ない。そこをしっかりと確定した上で山の対策をしていかないといけない。地主が分からないと対策が難しいことがある。

八ツ杉森林学習センターでは、和ハーブを活かした企画を幾つかやっており、山を活かした事業に取り組んでいる。

(意見) 獣害対策にも力をいれてほしい。柵を設置するにしても高齢化で作業する人がいないことから対策できない状況にもある。市の整備事業で、住民負担ができるだけ少ない形をとっていただくとよい。

(意見) 以前街中にクマが出没したとき、連絡連携が遅く子供たちが通常どおり登校していた。大変危険なので、同じことのないようにしてほしい。

<p>(3班)</p> <p>進行：川崎議員 記録：前田議員</p>	<p>(意見) 大滝神社が重要文化財になって50年近く経っている。国宝になる要素がある。日本で一番複雑と言われている屋根である。歴史的な面でも国宝に格上げできる神社である。議員から市に提案いただきたい。</p> <p>(意見) 獣害について、個体を追い回すだけでなく捕獲に力をいれてほしい。農作物への被害は、単に収穫が少なくなるだけではなく、高齢者は、作物を育てる過程の楽しみなどで健康面でも活力が得られているので、そこへの被害も大きい。</p> <p>Q：政策サイクルで農業について提言をされたが、担い手を作るといつても実際にどう担い手を生み出すのか、育成していくのか、考えがあるか。</p> <p>A：JAの方などいろんな団体と意見交換をしたが、担い手に対する対策が十分でないことはお聞きしている。やはり水稻は国策であるので、県や国に訴えていかないといけないと思う。</p> <p>農業者に対する支援や、生産者から消費者に対する支援を併せ持った施策をしていかないと、部分的に対応すれば解決する問題ではない。</p> <p>提言を9つ市に対して出したが、必ず回答が返ってくるので期待したい。</p> <p>(意見) 作ってくれる人を紹介してくれることが一番いい。</p> <p>(意見) 中間管理機構が弱いが、そういうところを解決しないといけない。</p> <p>(意見) 中山間地で補助金をもらっていたが、そこの土地を持っていた人が出て行ってしまう。その際手続きを怠ってしまうと補助金がなくなってしまう。草が刈ってないとひどく荒れてしまう。</p> <p>Q：支え合い推進をやっている。越前市は特異な体制でやっているので様々な問題が出ている。先進地視察を行くと、必ず社協が地域に入って汗を流している。先進地は、社協の知識経験のある人が地域に入って地域の後ろ盾となって活動が活発化している。越前市は自治振興会が第2層（小学校区）に入って組織しているが、自治振興会は福祉に素人である。そこにきて越前市の長寿福祉課の職員がだんだん減っている。研修会といつても第2層（小学校区）のスキルがアップするようなものができるっていない。地域の特性を生かすという発想はいいかもしれないが実態がそぐわない。</p> <p>市がもっと地域のレベルを上げるような施策をしていかないと他の市と比べだんだん差がついてしまう。議員が課題認識してほしい。</p> <p>A：支え合い事業だけでなく、いろんな分野で自治振興会に丸投げしている実態が今まであった。役所の仕事を自治振興会に肩代わりさせるようなシステムは駄目なので、しっかりすみ分けし、行政としてやるべきこと、地域でやれることを明確にしてほしいと釘をさしている。</p> <p>自治振興会の役割を今一度見直していくことも重要だと考える。</p> <p>職員の数も、合併当初は770人いたが今は600人切っている。職員の数をもっと増やしてもいいと思っている。その代わり地域の分まで仕事</p>
--	--

をしていただく。

(意見) 社協に業務を出していないので、その分を長寿福祉課でやらないといけない。それには人員が必要。さらには若い人しかいない。

Q：教員の働き方の見直しについて疑問がある。例えば、中学校は部活動が地域に移行しており土日は先生が休めるようにしている。一方、土日の行事があった場合に出てくることもある。どこまで、先生を土日に呼んでいいのか。平日だけしか働けないのか。学校によっても先生の土日出勤に偏りがあり、働き方の見直しがふわっとしている。どこまで学校の先生にお願いしていいのか分からぬ。

A：国が主導の働き方改革が、地方にも届いてきたところなので、まだ対応に差が生じてしまうのはやむを得ないのではないでしょうか。学校の現場からは、広く対応できる正規職員を増やしてほしいと聞く。でも、財務省がお金を出してくれていない問題がある。そこは、県も国も一生懸命考えてもらわないといけない。

(意見) 子供が減ってきてている。子供のためにも本来は適正規模の学校であるべき。そこも整理しないといけない。

Q：狭隘道路の補修に地係が 20%負担する必要がある。区長がなるべく負担が少なくなるように走り回っているぐらいである。なぜなのか。除雪機の補助も必要である。

A：市の理屈は、市の管理ではないので、そこに責任はないという言い方をする。ただ、共通の道路としての重要性があるわけなので、そこを守っていくため行政も考えないといけない。

Q：学校体育館に冷暖房を付けるという話もあるが、学校統廃合の方向性はないのか。

A：学校体育館は冷房しか付かない。委員会で暖房を付けるべきと言っている。

学校の適正配置については、今まさに白山地区や坂口地区で検討委員会にて協議している。直ちに合併することは市長も教育長も考えていられない。地元から要望が出てこないと行政側が一方的にはできない。

(意見) 仮に、学校が統合したとしても、公民館まで統合するとか体育館が統合することは別問題なので、しっかり分けて考える必要がある。地域の大人の事情と、子供の事情とは切り離さないといけない。

小さい学校から大きい学校まであるが、人数の少ない学校の子供は素直でよく伸びはあるが、社会に出てから一気に苦労している現実もみている。子供のことは切り分けて一番に考えないといけない。

Q：新聞に掲載された社協の件もあったが、議員風を吹かせ、市職員に威圧感を与えて仕事をしてもらうような状況では職員は育たないと思う。職員が働きやすい職場づくりを応援することが議員の仕事だと思う。

A：社協の件については、今まさに調査会を設置して調べているので必ず

結果を報道等で示すことになる。

いずれにしても市民の方に心配をかけることはやってはいけないと
思っている。

議員の態度についても、今社会的にパワハラやセクハラが非常に問題
となっているが、議会としては倫理条例をしっかり作っていることもあ
り、襟を正してやっていく。

(意見) 森林組合が以前林道や作業道路を作ったが、相当時間が経って、
道路がガタガタになり、草木が荒れて、車が入れなくなっている。それ
により山の管理ができなくなっている。整備していただきたい。

令和7年11月18日

越前市議会 議長様

第3班 班長 畠 勝浩